

宮崎県市町村・地域づくり団体協働モデル事業

ベンチのまち 本郷推進事業

赤江未来の会

宮崎市
地域振興部赤江地域センター
本郷地域事務所

事業名：ベンチのまち本郷推進事業

1. 【団体の概要】

赤江未来の会は、赤江地域の分割を検討する機関として、「赤江の未来を考える会」の一部メンバーを中心に、分割後も様々な事項を共有するために発足した。

旧赤江・本郷地域をつなぐ団体として、自主事業の拡大と本郷地域内の地域活動への協力を積極的に行い、地域全体の活性化を図ることを目的として活動している。

2. 【事業の目的、ねらい】

将来的には、地域に情報発信機能を持ったベンチを点在させ、本郷を人と情報でつなぐことを目標としている。

地域の財産である「歴史」や「人々の活動」をより多くの場所から発信することにより、地域情報の周知につながることを期待する。

そのために、地域の交流スペースとなるサテライトステーションとしての「みんなのべんち第一号」を地域住民の手作りで設置する。

3. 【活動内容】

ベンチのデザイン等の募集は、子ども達を対象にコンクールを開き、企画から完成にいたるまで、地域みんなで一緒に実施した。

ベンチを利用したコミュニティ活性化のイベントは、山崎川で開催される「灯ろう祭り」と合同開催し、多くの住民が参加した。

実施事項

■「みんなのべんちコンクール」

ベンチのデザイン等は、応募チラシを作成し、コンクールを開催。多くのアイデアを募り、デザイン部門の中から最優秀作品を採用した。

コンクール実施スケジュール

7月上旬 コンクール実施要領作成、審査員選定

7月13日 デザイン部門要項を宮崎県内各建築やデザイン系高校、大学などに配布

デザイン部門依頼先：宮崎県立宮崎工業高等学校インテリア科
 宮崎県立都城工業高等学校建設システム科
 宮崎県立日向工業高等学校建築科
 宮崎県立延岡工業高等学校生活文化科
 宮崎県立佐土原高校産業デザイン科
 宮崎日本大学学園高等学校芸術学科
 都城工業高等専門学校建築学科
 都城工業高等専門学校専攻科建築学専攻
 宮崎大学地域資源創成学部

第1回 みんなのべんち コンクール
 デザイン部門作品募集



7月13日 絵画部門要項を本郷地域の小中学校に配布
 さんぽ道、ベンチの絵部門依頼先：本郷中学校、本郷小学校、
 国富小学校

7月17日 デザイン部門要項を宮崎市ホームページに掲載

9月3日 審査会（本郷地域事務所会議室）審査員5名
 応募作品 デザイン部門：20作品 絵画部門：46作品
 入賞作品 デザイン部門：4点 絵画部門：8点



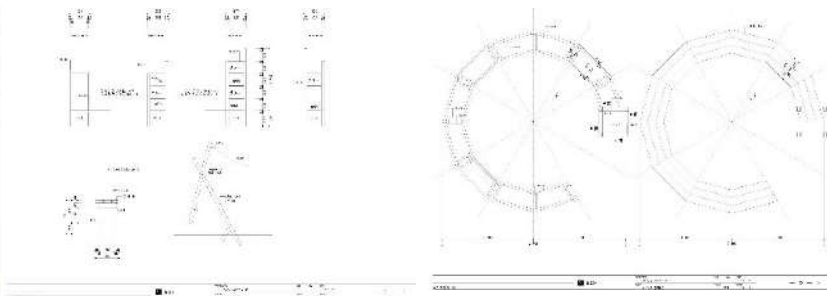
デザイン部門

さんぽ道やベンチの絵部門

9月21日 審査結果を各学校又は個人に通知

10月1日 入賞作品を宮崎市ホームページに掲載

9月～10月 実施設計～見積～材料発注



実施設計

審査員特別賞の都城工業高等専門学校 3 年生
甲斐萌真さんの作品を採用。

10 月 21 日 応募作品を「健康フェスタほんごう」宮崎県立看護大
に展示（来場者数：350 名）



■ 「みんなでみんなのベンチをつくろうワークショップ」

ワークショップ実施スケジュール

10 月上旬 ベンチ制作のワークショップチラシを応募者、地域学校、
地域団体に配布

10 月 20 日 ベンチ制作ワークショップを実施。

参加者：103 名（その内 中学生 65 名、宮崎県建築士会 12 名）

場所：本郷中学校と本郷小学校の西側にある山崎川上流

宮崎県建築士会会員の専門的な指導のもと、本郷中学校のボ
ランティアや地域住民が共同で製作。本郷中学校の生徒は、整
地、インパクトドライバーを使ったビス止め、柱の打ち込みな
ど、全ての工程に参加。

ベンチは木製のため、材料は腐食に対して耐久性の高い弥良
来杉（ミラクルスギ）を使用し、最小限のメンテナンスで地域
住民が長期にわたり使用できるベンチが完成した。



ワークショップの様子



竣工写真



防犯灯として



掲示板として

■ 「みんなのべんち除幕式、コンクール表彰式」

(灯ろう祭りオープニングイベントとの合同開催)

11月10日 山崎川にて開催。「灯ろう祭り」の設営、準備。

11月11日 灯ろう祭りオープニングイベントでみんなのべんち除幕式及びコンクール表彰式を実施。

イベントでは、本郷小学校の自然体験学習で作った灯ろうを川沿いにならべ、フラメンコや神楽等のステージイベント、芋煮会なども実施し、小学生やその保護者を中心とした約300名参加。多くの参加者に、みんなのべんち製作の目的や今後の展開についても説明。



除幕式



受賞式





12月19日 宮崎市ホームページに「みんなのべんち第一号が完成しました」を掲載。

12月24日 銘板設置、ベンチを花で彩るワークショップ実施。
(参加者8名)



4. 【事業の成果、効果】

企画から完成まで、多くの地域住民が手作りによる拠点作りに参加した。製作自体をイベントとし、幅広い世代間の交流を行った。また、住民自らが製作することにより、地域連携の意識向上が図れた。特に、本郷中学校の生徒が多く参加し、宮崎県建築士会会員とベンチの作成という普段できない体験を行い、郷土愛の醸成にも寄与できたと考える。

今後は、ベンチの点検管理や活用イベントの企画、掲示物の更新を行いながら、第二号作品の製作を実施予定である。

5. 【まとめ】

今後も身近で小さな拠点施設として本郷を人と情報でつなぐことを目標に、本郷地域全体に情報発信機能を持ったベンチを点在させ、地域財産である、「歴史」や「人々の活動」等を掲示して、情報発信することを目指します。